

調査ご協力のお願い

日本精神科病院協会は昭和24年に設立され、日本の精神保健・医療・福祉の質の向上に努めております。このたび、当協会は厚生労働省から委託をうけ、「精神障害者社会復帰サービスニーズ等調査事業」を行うこととなりました。

精神保健福祉をめぐる環境は、「精神保健福祉法」の成立により、医療・保健サービスだけでなく、暮らしを支える福祉分野でのサービスが法的に位置づけられるようになるなど、大きく変化しています。

今後、医療・保健・福祉に関するサービス・施策の政策をより拡充し、社会環境の変化に対応した政策を実現していくためには、皆様方からのご要望やご意見をうかがい、それを政策に反映していく必要があると考えております。今回の調査は、皆様方のサービスや制度へのご要望やご意見をきくことで、今後の保健医療福祉政策の推進をはかるための基礎資料を得ることを目的に実施するものであります。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケートに記入する前に必ず下記の事項をお読みください。

1. この調査は、全国の社会復帰施設に入所されている方の中から、無作為に（くじ引きのような方法で）選んだ方をお願いするものです。
2. あなたが、日常生活で困っておられることや、あなたのお考えをおうかがいしたいので、できるだけありのままお答えくださるようお願いいたします。
3. 調査票にお名前を記入していただく必要はありません。また、主治医の先生からもあなたの生活についておうかがいしますが、ここでもあなたのお名前がでることはありません。
4. この調査によっておうかがいした回答は、調査目的以外には使用いたしません。
5. なるべく全ての質問にお答えください。ただし、答えづらい質問がありましたら、お答えいただかなくてもかまいません。なお、この調査にご協力いただかなくても、あなたの不利になることはありません。
6. この調査の主旨をご理解いただき、調査にご協力することに同意していただける方は、アンケートにお答えください。回答を記入されたアンケートをもって、同意をいただいたものとさせていただきます。

平成15年3月

社団法人 日本精神科病院協会

C-1 《社会復帰施設／ご本人用》

--	--	--	--	--

精神保健福祉に関するニーズ調査

お書きになるときの注意

1. 原則として、あなた自身がお書きください。
2. 一人で回答することが大変だったり難しい場合は、ケースワーカー・看護師などの施設のスタッフやご家族に質問の説明を受けたり回答の記入を手伝ってもらってください。その場合も、あなたご自身の意見やお考えを代理の方に伝えて書いてもらってください。
3. 平成15年3月現在でお答えください。
4. 調査にご協力いただけない場合は、この表紙に大きく×をつけてください。

.....アンケートをはじめる前に.....
以下の項目をご確認ください

- 施設のスタッフから調査の主旨をきいた
- 調査ではあなたの秘密が守られることをきいた
- この調査を断ってもあなたの不利にはならないことをきいた

ID番号

--	--	--

※ID番号は、病院・診療所のスタッフが必ずご記入ください。

この調査に関する問合せ先

社団法人 日本精神科病院協会 精情研センター
 担当／部長・山崎、竹本
 〒108-8554 東京都港区芝浦 3-15-14
 TEL 03-5232-3311 FAX 03-5232-3309

社会復帰施設／ご本人調査票

問1 あなたは、男性ですか、女性ですか。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたは何歳ですか。

歳

問3 あなたは、今回入所前の6ヶ月間に、収入になる仕事をしていましたか。

(いずれか1つに○)

1. ふつうの会社で仕事をしていた (一時的に休んでいる場合を含む)
2. 農林漁業や、自宅での商工業 (商店や家内工場) で働いていた
3. 社会適応訓練事業 (通院患者リハビリテーション事業) のもと職親企業に通っていた
4. 仕事はしていなかった

→【問3で1、2に○をつけた方にうかがいます】

付問1 どのような形で仕事をしていましたか。(いずれか1つに○)

1. 自営業主として
2. 家族従事者として
3. 会社、団体の役員として
4. フルタイム (常用) の雇用労働者
5. パート・アルバイト (臨時雇い・日雇い)
6. 内職
7. その他

→【問3で「4. 仕事はしていなかった」に○をつけた方にうかがいます】

付問2 今回入所前の6ヶ月間に、収入になる仕事をしていなかったのはどんな理由からですか。

(いずれか1つに○)

1. 授産施設や作業所に通っていた
2. 収入になる仕事をしたかったが、見つからなかった
3. 収入になる仕事をするつもりはなかった。
4. 自宅の家事をしていた (主婦、家事の手伝い)
5. 学生

問4 あなたは今後半年以内に退所を希望しますか。(いずれか1つに○)

1. 退所を希望する (問5へお進みください)
2. 退所を希望しない (付問1へお進みください)
3. わからない (問5へお進みください)

→【問4で2に○をつけた方にうかがいます】

付問1 退所を希望されない理由は、つぎのうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. まだ病気が良くなっていないと考える
2. 主治医にまだ良くなっていないといわれている
3. 社会での生活に失敗するのが不安
4. 自分の体力や体のことが不安
5. 施設に入所している方が気楽で安心
6. 家族が退所に反対するから
7. 家族に負担をかけるから
8. 退所しても住む場所が心配
9. 退所してから仕事ができるか不安
10. 日中をどのように過ごしていいのかが不安
11. 家事ができるか自信がない
12. 経済的なことが心配
13. ひとり暮らしに自信がない
14. 何となく自信がない
15. あてはまるものはとくにない

【この付問に答えられた方は問11へお進みください。】

↓
次ページ
問5へ

社会復帰施設／ご本人調査票

問5 あなたが退所されるとしたら、退所後の生活で不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 病気が再発したり悪化したりしないか不安 | 6. 年金がもらえるか不安 |
| 2. 家族との関係が不安 | 7. 経済的なことが不安 |
| 3. ひとり暮らしが不安 | 8. 住居について不安 |
| 4. 入院前の仕事に復職できるか不安 | 9. その他 |
| 5. 仕事が見つかるか不安 | 10. 不安はとくにない |

問6 あなたが退所されるとしたら、どのようなところで暮らしたいと思っていच्छいますか。

(いずれか1つに○)

- | |
|----------------------------------------------------|
| 1. 自宅もしくはアパートなどで家族と同居 |
| 2. 入院前に住んでいた自宅もしくはアパートなどでひとり暮らし |
| 3. 賃貸アパートなどを新たに借りてのひとり暮らし |
| 4. 4～5人の利用者が一緒に暮らし、食事や身のまわりのことを援助する世話人が訪問するグループホーム |
| 5. 老人ホームなどの老人福祉施設 |
| 6. その他 |
| 7. わからない |

問7 退所して社会生活が送れるようになった場合、働くことについて以下のどの状態を希望しますか。

(いずれか1つに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 会社などの社員・職員として通常の仕事を毎日すること |
| 2. 会社などで負担の軽い仕事を毎日すること |
| 3. パート・アルバイトなどで週に数日あるいは毎日短時間仕事をする |
| 4. 自営業をすること |
| 5. 作業所や授産施設などに通う |
| 6. 自宅の家事をする(主婦、家事の手伝い) |
| 7. 働かなくてもよい(学生等) |
| 8. 働きたくない |
| 9. その他 |

問8 あなたが退所されるとしたら、つぎにあげる日中の「活動」のうち、あなたが行ってみたいと思われるものはどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------------------|
| 1. デイ・ケア、ナイト・ケアに通う |
| 2. 共同作業所に通う |
| 3. 地域生活支援センター、クラブハウスなどに通う |
| 4. 当事者の会、家族会、断酒会、ピアサポート、ピアカウンセリングなどに通う |
| 5. ボランティア活動に参加する |
| 6. その他 |
| 7. とくに利用したいものはない |

問9 あなたが退所されるとしたら、地域で生活をしていく上で困ると思われることは、どのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 食事の準備や調理など	9. 家族との会話やつきあい
2. 部屋の掃除・整理整頓	10. 服薬管理
3. 衣類のせんたく	11. 健康の管理
4. 日用品などの買い物	12. 急に病気の具合が悪くなったときの相談や対処
5. 現金や預金通帳などの管理	13. 戸締りや火の始末などの安全を保つこと
6. 規則正しい生活をする	14. 銀行や郵便局・役所を利用すること
7. 電車・バスなど交通機関を利用すること	15. 電話の利用
8. 近所の人との会話やつきあい	16. とくにない

問10 あなたが退所されるとしたら、地域で生活していく上で必要だと思うものは何ですか。つぎのそれぞれの項目について、「1.ぜひほしい」、「2.あった方がよい」、「3.いらない」のうち1つに○をつけてください。



	ぜひ ほしい	あった 方が よい	いら ない
ア. 相談に乗ってくれる市町村の精神保健福祉専門の職員	1	2	3
イ. 相談に乗ってくれる病院・診療所の相談員	1	2	3
ウ. 具合が悪くなったらいつでも診察してくれる、かかりつけの病院・診療所	1	2	3
エ. 具合が悪くなったらいつでも相談できる電話相談機関	1	2	3
オ. あなたが自宅での生活に疲れたときなどに、入院させず休息させてくれる施設(ショートステイ)	1	2	3
カ. あなたの世話をしているご家族が病気になった場合などに、あなたを入院させず休息させてくれる施設(ショートステイ)	1	2	3
キ. 日ごろの暮らしの相談や支援に乗ってくれたり、友達との交流が行なえる身近な場所(地域生活支援センター)	1	2	3
ク. あなたの自宅を看護師が訪問して服薬や病気・生活の相談にのってくれるサービス(訪問看護サービス)	1	2	3
ケ. 掃除や食事の用意、身の回りの世話などの家事を応援してくれるホームヘルプサービス	1	2	3
コ. 保健・福祉・医療のサービスに対する苦情や意見を聞いて、あなたの代わりに代弁してくれるサービス(権利の擁護)	1	2	3
サ. 自宅での金銭の管理や資産の活用をあなたに代わってしてくれるサービス	1	2	3
シ. アパートなどを借りる際、保証人の代理になってくれるサービス	1	2	3
ス. 就職についての相談ができる場所	1	2	3

問 11 あなたには、現在次のような定期的な収入がありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 勤め先の給料 | 7. 障害年金以外の年金 |
| 2. 小規模作業所や授産施設の工賃 | 8. 公的手当(特別障害者手当など) |
| 3. 自営業の手伝い | 9. 生活保護 |
| 4. 親や兄弟からの援助 | 10. その他 |
| 5. アパート家賃・駐車場賃料などからの収入 | 11. わからない |
| 6. 障害年金 | 12. 定期的な収入はない |

付問 1 この1ヶ月に、これらすべての収入の合計はいくらでしたか。

円

付問 2 あなたはこの1ヶ月で、自分のために平均してどれだけのお金をつかえますか。
家賃、光熱費、および食費は除いておおよその金額をお書きください。

円

【問 11 で「6. 障害年金」「7. 障害年金以外の年金」に○をつけた方にうかがいます。】

付問 3 年金の種類、等級は何ですか。(いずれか1つに○)
また、年金月額をお知らせください。

- | |
|----------------------------------------------|
| 1. 障害基礎年金
イ) 1級 ロ) 2級 |
| 2. 障害厚生(共済)年金
イ) 1級 ロ) 2級 ハ) 3級 |
| 3. 公的年金以外の年金(名称: _____) |
| 4. 障害以外の理由による年金(老齢年金、遺族年金など) |
| 5. その他(_____) |
| 6. 内容は知らない |

年金の月額 円

【問 11 で「8. 公的手当(特別障害者手当など)」に○をつけた方にうかがいます。】

付問 4 公的手当の種類は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
また、公的手当の月額をお知らせください。

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 特別障害者手当 | 〔月額 _____ 円〕 |
| 2. 福祉手当(経過措置として支給されるもの) | 〔月額 _____ 円〕 |
| 3. その他 | 〔名称: _____ 手当〕〔月額 _____ 円〕 |
| | 〔名称: _____ 手当〕〔月額 _____ 円〕 |
| | 〔名称: _____ 手当〕〔月額 _____ 円〕 |

【問 11 で「6. 障害年金」に○をつけなかった方にうかがいます。】

付問 5 障害年金を受けていない理由は何ですか。(いずれか 1 つに○)

1. 障害年金のことを知らなかった
2. 障害年金の対象疾病ではない
3. 手続きがむずかしいので受けていない
4. 障害の程度が軽いために障害年金を受けられない
5. 障害年金を受けるために日本国籍が必要とされていたが、外国籍だった(昭和56年12月まで)
6. サラリーマンなどの配偶者として国民年金任意加入となっていたが、加入していない期間中に障害が発生した(昭和61年3月まで)
7. 20歳以上の学生として国民年金任意加入となっていたが、加入していない期間中に障害が発生した(平成3年3月まで)
8. 国民年金に加入する義務があったが、加入手続きを取っていないかった、または保険料納付期間が不足していた
9. 海外居住期間中に障害が発生した
10. 年金に頼らず努力したいので
11. 自分の意志で加入していない
12. よく理由はわからない
13. その他

問 12 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を所持していますか。(いずれか 1 つに○)

1. 持っている(問 13 へお進みください)
2. 持っていない(付問 1 へお進みください)

【問 12 で「2. 持っていない」に○をつけた方にうかがいます。】

→付問 1 手帳を持ちたいと思いますか。(いずれか 1 つに○)

1. 持ちたいと思う
2. 持ちたいと思わない
3. どちらでもない

付問 2 手帳を持っていない理由は何ですか。(いずれか 1 つに○)

1. 手続きが面倒であるから
2. 手続きがわからないから
3. メリットが少ないから
4. 手帳を持つことに心理的な抵抗があるから
5. 自分には必要ないから
6. 手帳について知らなかったから
7. その他

→問 13 このアンケートは誰かに手伝ってもらいましたか。(いずれか 1 つに○)

1. 自分ひとりで回答した
2. 病院のスタッフや家族に手伝ってもらった

以上で質問は終了です。調査にご協力いただきありがとうございました。
最後に、記入もれがないかご確認ください。